



継続は力なり

令和5年3月6日
小松市立南部中学校
校長 中野 務
TEL44-2560 FAX44-8160

有終の美を飾る ～良いスタートを切るために～

温かな春の気配を感じるようになりました。時の経つのは早く、今週は、公立高校入試、卒業式と続きます。また、修了式まで18日となりました。

卒業生の保護者の皆様方には、お子様のご卒業、誠にありがとうございます。卒業式では、3年間で随分とたくましく成長した子供たちをご覧いただけたと思います。

さて、物事の締めくくりには、「有終の美を飾る」という言葉がよく使われます。これは、「物事をやり通し、最後に立派にやり遂げ、価値あるものに仕上げる」という意味があります。中学生には、次の4つのことが当てはまると思います。

第一は、「勉強の締めくくりをすること」です。それぞれの学年で学んだことがしっかりと定着されているかを確認し、次の学年に進級することが大切です。これまでのテストやワークを見直したり、春休みのワークを活用したりと、できる限り復習をしておく、自信をもって4月の進級テストに臨むことができます。次のステップで良いスタートを切るためには、今のこの時期を大切にしてほしいと思います。

第二は、「自分自身を振り返る」ということです。2年生が立志式を済ませたように、皆さんはいつまでも子供ではありません。3年生は、進路選択にあたり、自分の特長や特技、将来の職業について深く考えたことでしょう。1、2年生は、これまでの進路学習や高校訪問、職業調べ等を通して、自分を見つめ直すことがあったのではないのでしょうか。これを機会に、自分の将来について高い志を掲げ、家族や友達と話し合ってみてください。また、学級や部活動の中で、自分の役割をしっかりと果たしているかを振り返ってみてください。人には必ず良いところと改善すべきことがあります。自分を知ることにより、人として成長することができます。

第三は、「場を清める」ということです。つまり、1年間生活した教室や校舎、自分の机やロッカーなどをきれいにすることです。汚れを落とし、きれいに磨くことで、自分の心も磨き、清々しい気持ちで進級してください。サッカーワールドカップで日本選手のロッカーが大会後にきれいに掃除されていたことが賞賛されましたが、次の人が、気持ちよく使ってもらえるような心配りができる人になってください。

第四は、感謝の気持ちを伝えることです。先だっては、1、2年生が、3年生にお世話になった感謝の気持ちを伝えていました。伝え方はそれぞれですが、思いのこもったもので、心が温かくなりました。1年間の心の成長を感じて嬉しく思いました。家族やコーチなど、お世話になった人はたくさんいると思います。照れくさい相手もいるかと思いますが、何とかして伝えてほしいと思います。

そして、全校生徒と職員で作り上げる「有終の美」は、何と言っても卒業式です。別れの寂しさもありますが、温かい気持ちで、3年生の晴れの門出を祝う素晴らしい卒業式になることを願っています。



【3年生へ：感謝のメッセージ】